

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
看護管理・国際看護	3年次 前期	必修	講義	1単位(15時間)	渡辺しき子 ※
授 業 概 要					
<p>看護実践に必要な組織的な管理・運営の基礎を学び、看護を必要としている人々に対し、看護はどのように提供されているか現状を理解する。看護管理は、新しいヘルスケアシステムを創造し、チームや組織、システムを動かしていく活動であり、病院だけでなく地域の保健医療福祉の場へと拡大している。看護管理は、管理者だけでなく、ケアを提供する全ての看護職者が担う役割である。ここでは、その基礎的知識を学ぶことを狙いとする。</p> <p>グローバリゼーションがますます進展している現在、他国の看護事情について知識を持ち、各国の文化・習慣・国民性・民族性に関して理解を深める。多文化共生社会の中で自己理解、他者理解のもと必要な看護が提供できる基礎的能力を養う。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護管理の目的を述べる。</li> <li>2. 看護管理に含まれる要素について概略を説明する。</li> <li>3. 看護の質保証のために必要なマネジメントについて説明する。</li> <li>4. 看護教育制度および継続教育とマネジメントの関連性について述べる。</li> <li>5. 社会における看護の果たす役割を説明する。</li> <li>6. 他国の文化・習慣・国民性・民族性・看護事情について関心を示し、多様性を認める。</li> <li>7. 看護の国際協力の理念と組織、具体的なプログラムを知る。</li> </ol>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護と管理</li> <li>2. 看護ケアのマネジメント <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ケアのマネジメントと看護職の機能</li> <li>2) 患者の権利の尊重</li> <li>3) 安全管理</li> <li>4) 看護職の協働、他職種との協働、チームアプローチ</li> </ol> </li> <li>3. 看護の質保障と看護サービスのマネジメント <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 組織目的達成のマネジメント</li> <li>2) 看護サービス提供の仕組みづくり</li> <li>3) 人材、物品、情報のマネジメント</li> <li>4) 組織におけるリスクマネジメント</li> <li>5) サービスの評価</li> </ol> </li> <li>4. マネジメントに必要な知識と技術</li> <li>5. 看護をとりまく諸制度 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護職の法的責任、職業倫理</li> <li>2) 看護職の教育制度、キャリアマネジメント</li> </ol> </li> </ol>				渡辺しき子 ※
7-8	<ol style="list-style-type: none"> <li>6. 看護とグローバリゼーション <ol style="list-style-type: none"> <li>1) グローバリゼーションの概念</li> <li>2) グローバリゼーションの中の健康</li> <li>3) 他民族、他文化など多様性の理解</li> <li>4) 貧困、教育、ジェンダー、紛争・災害と健康</li> </ol> </li> <li>7. 看護の国際協力活動</li> </ol>				外部講師
学 習 方 法					
講義。提示した課題についてレポートを提出する。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験、レポート、詳細は授業初回に提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
系統看護学講座	統合分野	看護の統合と実践[1]	看護管理	上泉和子 他	医学書院
系統看護学講座	統合分野	看護の統合と実践[3]	災害看護学・国際看護学		
			日本赤十字社	事業局看護部	医学書院